

## 研究グループの紹介

UDC 621.7 : 621.9.001 : 007 : 058.5 : 62-50

# プロテック研究会

## 1. 沿 革

プロテック (PROduction TECHnology) 研究会は、昭和46年4月に東京大学名誉教授で本研究会顧問の鈴木弘先生の呼びかけにより、東京大学生産技術研究所に設立された最適生産システム研究会を前身とする。その趣旨を発展させて、昭和62年には新たにプロテック研究会と改称し、今日に至っている。

## 2. 目 的

本研究会は、金属をはじめ、無機・有機・複合材料・新素材などあらゆる工業材料の、素材から製品に至る生産プロセスについて、機能・形状などを効率的に実現するために、加工および計測・システムに関する総合的かつ先進的技術体系を確立することを目的としている。

## 3. 研究方法と活動実績

本研究会のメンバーは、相互の協力を通じて総合的に研究を行う姿勢を基本とし、各員の自主的に行う基礎的研究と、生産現場と協力しつつ行う実際問題に即した応用研究との両者を調和させることにより、効果的に研究を推進している。

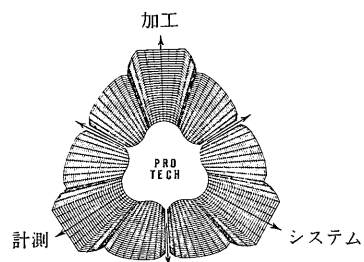
本研究会は、最適生産システム研究会の実績も含め、設立以来平成2年3月現在で通算104回の研究会および79回の見学会を実施しており、メンバー相互の協力体制について検討を加えるとともに、産業界との交流を促進している。また、その研究の成果は「生産研究」に各研究者が個別に発表しているのみでなく、24巻8号(昭和47年)、25巻10号(昭和48年)、27巻7号(昭和50年)、28巻11号(昭和51年)、30巻2号(昭和53年)、31巻1号(昭和54年)、32巻11号(昭和55年)、34巻6号(昭和57年)、36巻2号(昭和59年)、37巻11号(昭和60年)、39巻6号(昭和62年)、40巻10号(昭和63年)ならびに本号を加えて計13回にわたり、生産研究特集号の発行に協力している。また、生産技術研究所公開に際しては、毎年共同展示を実施している。

## 4. 研究会メンバー

現在中心的に活動している本研究会のメンバーとおのおのの専門分野は、右表に示すとおりである。

氏 名	職 名	専門分野 (研究課題)
鈴木 弘	東京大学名誉教授 (元東京大学生産技術研究所所長)	塑性加工学 (圧延, 引抜き, 矯正, ロール成形)
佐藤壽芳	東京大学生産技術研究所教授	工作システム工学 (工作機械の剛性と精度, 精度測定, 加工関連振動)
中川威雄	東京大学生産技術研究所教授	先端素材製造学 (プレス加工, 粉末成形, 型技術, 複合材料, 研削加工)
木内 学	東京大学生産技術研究所教授	塑性加工学 (ロール成形, 半溶融加工, CAD/CAE, 鍛造, 圧延, 押し出し, 引抜き, 板成形)
増沢隆久	東京大学生産技術研究所教授	微細加工学 (微細加工, 放電加工, 電解加工, イオン加工)
樋口俊郎	東京大学生産技術研究所助教授	メカトロニクス (磁気軸受, ロボット, 超精密位置決め, アクチュエータ)
西尾茂文	東京大学生産技術研究所助教授	冷却制御工学 (急冷凝固プロセス, 素材熱処理技術)
谷 泰弘	東京大学生産技術研究所助教授	超精密加工学 (砥粒加工, 工作機械の要素, 計測技術)
横井秀俊	東京大学生産技術研究所助教授	プラスチック加工学 (射出成形, 可視化・センシング技術)
柳本 潤	東京大学生産技術研究所講師	塑性加工学 (塑性変形特性の理論解析, CAD/CAE, 鍛造, 圧延)

(平成2年3月現在)



このデザインは、加工・計測・システムの3つの中核となる既存研究分野をおのおのブロックとして表現したもので、それらの調和連結はプロテック研究会を通じた密接な協力体制を象徴する。